

徳之島地区 地域包括ケア便り

～ 最期まで笑顔で過ごせる“健幸”なシマづくり ～

## ご近所の安心をみんなで作る

～高齢者元気度アップ地域活性化事業で安心・元気な地域づくり～

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるためには、ご近所の声かけ、助け合いが大事です。

それぞれの地域で、身近な通いの場づくりや、見守り・声かけ、ちょっとした手助けなどを行うグループ（高齢者を半数以上含む3人以上の団体）の活動にポイントを付与し、地域商品券に交換できる事業です。



～ たとえば、こんな活動をしています ～



近くの方が集まりやすい空き家などを開放して、週1回程度の集いの場を設けています。毎日集まっているところもあります。

子どもも含むグループをつくり、独居の方の話し相手や、買い物などのちょっとした生活支援、庭の草むしりや植木の剪定などのお手伝いをします。



子どもたちとの交流イベントの開催や子育て支援、集落の美化活動、花いっぱい活動を行っています。



■ 団体活動を行いたい方は、徳之島町社会福祉協議会へご相談ください。 ■

\* 65歳以上の方が半数以上含まれること（高齢者自身が担い手となることで地域での役割をもち、生きがいと元気づくりにつながるため）

\* 近隣にすでに類似活動がある時は、統合していただく場合があります。

## ◆「在宅ケア」という選択③「本人の選択」が大事◆

6割の人が、「最期は自宅で迎えたい」と希望していますが、実際に最期を自宅で過ごせた方は1割くらいです。

さらに、医療技術が進歩し、「自然に最期を迎える」ということが難しくなっています。認知症になったり、意識がなくなり、いざという時に「ご本人の意思」が確認できない場面も多くあります。

\* 救急搬送をする？しない？

\* 口から食べられなくなった時に・・・

\* 呼吸が止まった時は・・・

そんな時、ご家族に「どうしますか？」と選択を迫られることになります。

在宅患者さんに限らず、誰でも、突然 病に侵されたとき、年を重ねて心身の衰えを感じたとき、ひとり暮らしになった時・・・これからの生活に選択を迫られることも多々あります。

最期をどこで、どのように過ごしたいか、医療や介護をどこまで受けたいか、元気なうちから考えておくこと、それを周囲に伝えおくことは、だれもが必要なことです。



## ～ 講演会のご案内 ～

### 50代から考える「終活」の話



講師：介護老人保健施設 愛と結の街 施設長

黒野 明日嗣（くろのあすつぐ） 先生

日時 平成29年12月17日(日) 14:00～16:00

会場 徳之島町文化会館2F会議室

内容 (1) 講演会

(2) 徳之島版エンディングカードをみんなで考えよう

定員 50名 どなたでも参加できます

参加申し込み 徳之島町地域包括支援センター（82-1111）へ  
12月11日（月）までにお電話でお申込みください。

